



ウィズコロナの時代に

新型コロナウイルス感染症の流行から3年目となる今年度、その対応や考え方が少しずつ変わってきました。昨年度までは、感染症対策のため中止としていた行事等を、感染症対策を講じながら、可能な限り実施する方向で取り組んでいます。ニュースや新聞でも「3年振りの〇〇」という言葉を多く目にするようになりました。さらに最近では、新型コロナ感染症の軽症・中等症患者に使用できる国産治療薬が開発されたり、感染症法上の扱いをインフルエンザと同じ5類へ見直す検討が始まったりしています。最新の情報や、教育委員会等からの指示をもとに、児童の安全を第一に考え、教育環境の整備に努めてまいります。

講話朝会 「かしこく」

11月30日(水)の講話朝会で、細谷小の合言葉のひとつ「かしこく」について話をしました。隣の家の竹林が生い茂っているせいで、一日中陽が当たらないために、何を作ってもうまく育てることができなかった畑に、冬に育てるほうれん草を夏に育ててみたところ、見事に収穫できたという話、グラハム・ベルが遠くに離れている人と会話をするようにできるよとに発明した電話機から、家の外からでも通話ができるようになったり、携帯でインターネットやゲームができるようになったりした話をしました。かしこい人とは、方法やアイデアを考えて「できない」を「できる」に、そして「できる」を「もっとできる」にすることであると話しました。そして今は、学校で漢字や計算、読書を通して「できない」を「できる」に、そして「もっとできる」に挑戦することをがんばるようお願いしました。



子供たちが書いてくれた感想を紹介します。

<p>なつがすすしくなったとき、ふゆもすすしいから、ふゆのやさいをつくらうと、できないことをできるようにしたのがすごいとおもいました。(1年生)</p>	<p>まずはできることをどんどんして、できないことにちょうせんできるようにしたいです。(2年生)</p>	<p>できないことを時間をかけて考えて、できるようにしたいから、できないことをいっしょうけんめいにがんばりたい。(3年生)</p>
<p>あきらめずに考えることは大切だと思った。分かったで終わりではなく、もっと考えると</p>	<p>かしこい人は、頭がいい人ではなく、解決するためにアイデアや方法を考える人のこと</p>	<p>かしこくなるために新しい漢字や計算も頑張るが、今までに習った漢字や計算をよりいねいに、より</p>

いいと分かった。(4年生)	なのだなと思った。(5年生)	早くできるようにがんばりたい。(6年生)
---------------	----------------	----------------------

宇都宮市小学校陸上競技大会

11月22日(火)、宇都宮市内の全小学校71校から、5・6年の代表選手が西川田の総合運動公園第2陸上競技場に集合し、陸上競技大会が行われました。細谷小では10月から放課後の練習を開始し、16名の代表選手が大会に出場しました。選手たちは練習の成果を発揮し、多くの選手が自己ベストの記録を更新することができました。



《Dブロック入賞者》		
100m	5年	立石 虎誠(6位)
	6年	鈴木 蓮(2位)
走り幅跳び	5年	巻嶋 結衣(1位) ※市1位
		谷田部 堅心(4位)
	6年	増淵 陽菜(1位) ※市1位
		渡部 猛(1位)
走り高跳び	5年	豊田 幸村(2位) ※市4位
	6年	植木 一步輝(2位) ※市5位

PTA文化祭大盛況

12月3日(土)、土曜授業の日の午後、PTA文化祭が行われました。3年ぶりの開催となる今年度は、感染症対策のため飲食ブースは設けませんでした。PTA委員会や学年部会、おやじの会などによる13のイベントブースが設置され、どこのブースにも長い列ができるなど大盛況でした。また、「はたらく車大集合」ブースには、パトカー・消防車・救急車が置かれ、乗車の体験もすることができました。企画から準備、運営まで、文化祭委員会をはじめ、多くの方に大変お世話になりました。



ジャンピングボード

横断歩道が表示されました

なわ跳びの練習用として、ジャンピングボードを6台作成し、体育館東側に設置しました。ボードのはねを利用することで、できない技に挑戦したり、できる技の回数を伸ばすのに有効です。



ファミリーマート北側(新里街道の東側歩道部分)に新しく横断歩道が表示されました。登下校時の児童の安全確保のため、自治会と連携して警察に要望し、要望が通りました。安全な歩行について、改めて児童に指導し、見守りをしていきます。

